

## 産地取り組みプロジェクト 「TDA+湖東産地との取り組み」ライフスタイル展

麻織物の産地、滋賀県湖東産地では2008年4月「近江の麻」「近江ちぢみ」が地域ブランドに認定されました。その普及と進展を目指し、湖東繊維工業協同組合(TDA会員北川)が理事として所属)の今年度産地事業の一環として、TDAとの連携による新たなテキスタイルの提案を組み込みました。

まずは6月28日に「麻を知ろう。産地を知ろう。」と題し、産地勉強会と見学、座談会を開催しました。その後、産地との取り組みに興味を持っていたTDAデザイナーとプロジェクトを開始、相互話し合いによりテキスタイルの製作をし、その成果発表として11月19日～22日に東京ビッグサイトで開催されたライフスタイル展のTDAブース「J布」に出展しました。

TDAデザイナー5名+湖東繊維工業協同組合内企業(生地、染色、加工、整理仕上げ)の取り組みとなりました。数回に渡る話し合いの中で、今回は短期間でのチャレンジである事から、産地が得意とする麻素材に産地内で可能な後加工技術による新たなテキスタイルを制作することになりました。

紺にプリント、箔プリント、漆プリント、グリッタープリント、リップル加工・・・提案されたデザインに上げるために、現場の腕の見せ所、無理難題をいかに可能にするか、短い作成期間でしたので本番の仕事をさしおいて、試行錯誤してもらいました。今回産地側では特に加工面で江東整備(株)さんには多大なご努力をいただきました。

苦労の甲斐あって満足のいく作品が仕上がったと思います。可能な限りデザイナーのイメージに近づけるために注いでいただいた時間を今後の仕事の中で活かしていかなくては取り組んだ意味がありません。

取り組んだ工程そのものに意味もありましたが、本当に大事なものは、今後の取り組みです。ライフスタイル展に発表して終わりではなく、どう流通させて行くのか、「J布」としてのブランド化についても早急に話し合っていないとなりません。

多大な経費をかけた分、単年度の取り組みではなく、次に繋がるようにしたいと思っています。ライフスタイル展で協賛企業の紹介をもっともらうべき、するべきだったと反省しています。湖東産地が取り組んだアピールがあまり出来なかった事が残念です。

単なる発表で終わらぬよう、引き続き市場での反応を見てみたいと思っています。

あるショップの方に、「展示栄えはするが布だけではわかりにくいので何のための生地なのかの提示があると良いですね。」「クッションにしてある方がわかりやすい。素材感を感じる。」とご意見をいただきました。見せるための展示会から売るための展示会へ産地の今後の課題をいただいたように思いました。

日本で仕事を続けるために産地は必死です。できたら産地は素材の生地を作ることだけに専念したいのですが、最終製品の作成までも手がけて行く必要が出てきました。産地ショップの実現に向け勉強を重ねて行きたいと思っています。産地が生き残っていくために、これからのTDAとの連携に期待をしています。

湖東繊維工業協同組合 産地事業委員長 北川陽子

\*TDAデザイナー  
今井弘子、神沢郁子、池端禎三、大高 亨、岩岡利都子  
\*湖東繊維工業協同組合  
(株)おおまえ、川口織物(有)、北川織物工場、江東整備(株)、  
沢染工(有)、(株)大長、(有)中藤織物整理工場、(株)麻絲商会

取り組みの内容は以下の通りです。



今井弘子さん  
①たて紺+プリント  
生地(たて紺)・麻100%=北川織物工場  
プリント=江東整備(株)  
ちぢみ仕上げ=(有)中藤織物整理工場  
②たて紺+後染め  
生地(たて紺)・麻100%=北川織物工場  
後染め=沢染工(有)  
ちぢみ仕上げ=(有)中藤織物整理工場